

# オペラ 蝶々夫人

## Madama Butterfly

Giacomo Puccini

G.プッチーニ 作曲 ~全2幕3場~原語字幕付き全曲上演

ジョン・ルーサー・ロング原作 デーヴィッド・ペラスコ戯曲 ジュゼッペ・ジャコーザ&ルイージ・イリカ台本



総監督/荻野 久一

公演監督/石野 健二 制作総括/村山 哲也

指揮/荻町 修 演出・美術/宮本 哲朗

演奏 栃木県交響楽団 栃木県楽友協会合唱団

舞台監督/深川 哲哉 照明/芦部 正 音響/高崎 利成

装置/平塚 順二 衣装/渡辺 真美 字幕/荒井 雄貴 ヘア・メイク/エイミー 前田

副指揮/村山 哲也 合唱指導/石野 健二

稽古ピアノ/柴本 ゆかり 高岩 利恵 八巻 聖美

制作スタッフ/小二田 幸子 村山 啓子 \*瀧 浩子 \*菊川 敦子(\*兼演出助手)

### CAST

蝶々夫人/篠崎 加奈子 ピンカートン/田口 昌範 シャープレス/石野 健二

スズキ/柳田 明美 ゴロー/岩瀬 進 ポンゾ・ヤマドリ/荒井 雄貴

ケイト/小坂 佳代子 神 官/小倉 伸一 ヤクシデ/矢古宇 好道

母 親/荻野 桃子 従姉妹/深谷 博子 従姉妹/鈴木 里香

### [入場料]

S 指定席: 4,000円

A 指定席: 3,000円

B 指定席: 2,000円 学生(バルコニー)

当日券は、500円増し(消費税込み)

### [プレイガイド]

●栃木県総合文化センタープレイガイド(午前10時~午後7時)

予約電話番号/TEL.028-643-1013

●宇都宮市文化会館プレイガイド TEL.028-634-6244

主 催/栃木県オペラ協会

共 催/公益財団法人とちぎ未来づくり財団・栃木県楽友協会

後 援/栃木県文化協会・下野新聞社・(株)栃木放送・(株)とちぎテレビ

栃木よみうり・とちぎ朝日

イタリア文化会館

2016

# 7.24 [日]

13:30 開場 14:00 開演

栃木県総合文化センター  
メインホール

お問い合わせ 栃木県オペラ協会 運営事務局 ☎028-653-5876(石野)

お願い  
お断り ●就学前のお子様の入場はご遠慮下さい。●会場内では携帯電話の電源を必ずお切り下さい。  
●会場内での録音・録画はご遠慮下さい。●会場には駐車場がございません。公共交通機関等をご利用下さい。



芸術文化振興基金助成事業



平成28年  
4月1日(金)  
午前10時  
発売!!

オペラ  
**蝶々夫人**  
Madama Butterfly  
Giacomo Puccini

上演時間2時間20分(第1幕=50分、第2幕1場=50分、2場=40分)

指揮/荻町 修

演出・美術/宮本 哲朗



蝶々夫人/  
篠崎 加奈子



ピンカートン/  
田口 昌範



シャープレス/  
石野 健二



スズキ/  
柳田 明美



ゴロー/  
岩瀬 進



ボンゾ・ヤマドリ/  
荒井 雄貴



ケイト/  
小坂 佳代子



神官/  
小倉 伸一



ヤクシデ/  
矢古宇 好道



母親/  
荻野 桃子



従姉妹/  
深谷 博子



従姉妹/  
鈴木 里香



**【栃木県楽友協会合唱団】** \*＝リーダー

〈ソプラノ〉 稲葉美香・大貫美奈子・\*荻野桃子・金子悦子・木村敏子・佐藤 薫・樋口富美代・野中のぞみ・\*深谷博子

〈アルト〉 小池やよい・鈴木里香・武石美穂・野沢和子・野中直子・深野照代・松本良子

〈テノール〉 石濱陽一郎・加藤順一・小堤正二・中川博夫・橋詰良太・深津昌樹・福田敏範・北條真俊・\*矢古宇好道・梁島利夫

〈バス〉 大貫佳浩・大沼晴彦・坂本光明・澤田 茂・鈴木幹盛・竹澤敏三・田中 優・辻 和正・野口 豊・樋口 弘・渡邊伸夫

会場のご案内



JR宇都宮駅(西口)から

タクシーで約5分(約1,600m)

バスで「県庁前」「東武駅前」停留所下車 徒歩で約3分

(関東バス)作新学院、戸祭、江曾島行きなど

東武宇都宮駅から徒歩で約10分(約700m)

東北自動車道 鹿沼ICから約9km 約30分

(県庁地下駐車場のご利用について)

・利用時間 平 日:午後5時から午後9時30分まで

土・日・祝日:午前9時45分から午後9時30分まで

※午後9時30分以降は出庫できませんので、ご注意ください。

※県庁閉館日はご利用できません。(県庁HPでご確認ください。)

・利用料金 2時間無料、以降30分ごとに150円

・利用確認 管理事務室、総合案内(プレイガイド)で受付スタンプを押印。  
(駐車券をお持ちください。)

明治時代の長崎が舞台。  
真実の愛と信じて待ち続けた蝶々さんと、  
東の間の愛情を求めて、  
かりそめの結婚をした。ピンカートンとの恋愛の悲劇を描く。

音楽は、蝶々さんのアリア、「ある晴れた日に」を始め、なじみ深い「さくらさくら」など、  
色彩的な日本色あふれる世界の名作。  
プッチーニと西洋人のエキゾティシズムの結晶。

